

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	おおやぎ まき 大八木 麻希		職名	教授（博士(工学)）	
専門分野	陸水学，環境科学				
所属学会	日本陸水学会，日本陸水学会東海支部会，日本土木学会，生態工学会，水環境学会				
担当科目	生態学，自然調査法，陸水学，生物分類学，食品微生物学，環境実験・調査 a・b，基礎演習 b，専門演習 a・b・c・d				
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		概 要			
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		生態学，自然調査法，陸水学，食品微生物学は講義でありながら，講義の後半で簡易な実習やワークを行うことによって，学生の興味関心の向上と習熟度の定着を認めることができた。授業評価ではおおむね好評であり，4.0以上をこれまで継続している。			
2. 作成した教科書、教材、参考書		生態学，自然調査法，陸水学，生物分類学，食品微生物学の補講用オンデマンド教材			
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4. その他教育活動上特記すべき事項		模擬講義，三谷水産高等学校，進路ガイダンス，「水産」，2022年1月31日，zoom 模擬講義，皇學館高等学校，進路ガイダンス，「環境・バイオ」，2022年2月17日，zoom 模擬講義，熱田高等学校，進路ガイダンス，「農学，水産，環境」，2022年3月11日 模擬講義，三谷水産高等学校，進路ガイダンス，「水産，マイクロプラスチック」，2023年2月10日 高大連携，暁中等高等学校3年生，「高松干潟のマイクロプラスチック調査指導」，2023年3月12日 外部指導，四日市市立富洲原中学校1年生，「環境に関する探究活動に関する指導」，2023年2月15日			
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
論文					
Water pollution of the Jyushi-gawa river in Yokkaichi-City	共著	2021年11月	11th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials & Environment	Yukimasa Takemoto, Masaaki Takahashi, <u>Maki Ooyagi</u> , Shigeaki Inagaki and Atsushi Suzuki	410-415
名古屋市猪高緑地内のため池の水質特性	共著	2023年3月	なごや生物多様性センター，なごやの生物多様性，10	大八木麻希，早川史恩，平野稔季	135-142
学会発表					
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等		
農業用水路の和無田まんぼにおける低pHとその考察	共同	2022年9月	日本陸水学会大会86回，P-14，兵庫，オンライン大会， <u>大八木麻希</u> ，劉文博，佐藤瞭磨，ポスター発表		
名古屋市内のため池の池干しが水質に与える影響	共同	2023年2月	日本陸水学会東海支部会第25回研究発表会，三重，高橋築馬，野田響広， <u>大八木麻希</u> ，口頭発表		

Ⅲ 社会における主な活動	
役員・委員等	
2016年10月～現在に至る	三重県環境審議会委員
2019年6月～現在に至る	三重県公共工事総合評価意見聴取会委員
2020年6月～現在に至る	三重県環境影響評価委員
2023年1月～現在に至る	三重県国土利用計画審議会
講演等	
2022年8月4日	外部講演講師，令和4年度高校生地球環境塾「伊勢湾流域圏のマイクロプラスチック問題を現地調査から考える」，四日市市環境部環境政策課，（四日市市）